



北海道バスケットボール協会
指導者育成専門委員会
2015/02/13(金)

タクティクス (HBA指導者育成専門委員会ブログ)

NO. 164

『一寸一言』 2014 ウインターカップ大会を終えて

札幌山の手高校
上島 正光

斉藤麻 (173)、佐藤奈 (175) のポストプレイのコンビネーションを中心に3Pシュート、ドライブシュートとオールラウンダーのポイントゲッターに、小さい (163) ながらもリバウンド、ルーズボールの強い、ムードメーカーの西尾を加えた3人は1年時からチームの中心。

ただ、肝心要のポイントガードとセンタープレイヤーに誰を起用するか、1年間色々試して見たが、なかなか決めきれずに今大会を迎えることとなった。

事前対応

- ・3PシュートとDFの硬い塩野 (158) をポイントガードに、チーム内で1番運動能力の高い尾崎 (176) をセンターとして、競ったときの我慢や対応に、また、責任ということも考えオール3年生のメンバーでチームを構成し、1ヶ月前の道予選終了時から固定することとした。

プレイ面では

- DF ○ノーマルマンツースを中心オールコートマンツーマンプレスと
○2・1・2のゾーン
- OF ○斉藤麻と佐藤奈のポストのコンビネーションプレイ
○この2人に加え、西尾、塩野、牧野の3Pシュート
○カットインプレイとパスイングプレイを中心としたプレイの組み立て
○OFを組立てる要素として特にカッティングは欠かせない
 - ・ステーションナルポストよりムービングポストヘルプDFを阻止できる
 - ・リバウンドに関わる一たとえリバウンドが取れなくても相手に容易にプレイは出されない
- 今年のチームはターンオーバーとDFが課題。これを修正しなければ
 - ・常にチームは不安定
 - ・特にパス、アウトサイドハンドパス、止めるという2つの技術
 - ・ポストプレイとドライブに対するDF

試合結果

- 2回戦 和歌山信愛

注意点：山の手にとって初戦、No 8、11のドライブ。スタート時、DFでイニシアチブをとり、ファールを抑えることを確認。

スタートメンバー：信愛 4 (165) 8 (167) 10 (163) 11 (160) 12 (175)
山の手 斉藤麻 (173) 佐藤奈 (175) 尾崎 (176) 西尾 (163)
塩野 (158)

1 P

山の手マンツーマン、信愛 3・2 プレッシャーゾーンでスタート。
ダブルチームDFで連続ミスを誘い尾崎の3連続シュート。6:00には西尾のスティールからのドライブで13-2とするも、イージーシュートミス、ターンオーバー、セカンドチャンスで得点を与えスピードある遠目のドライブインからのスクープシュートで得点され、3:00には21-10。残り0:10に3Pシュートを決められ27-15。このピリオドだけで8ターンオーバー。

2 P

互いに得点して8:08には34-20。そこからロングシュートとなる3Pシュートも含めて連続9得点を許し5:30には34-29と差を縮められる。
その後も尾崎のポストシュートで対抗するもオーバーファールでフリースローを与えるなどして2:40には3Pシュートを決められ38-37の1点差。
斉藤麻の3Pシュート、佐藤奈のドライブシュートで47点とするもDFローテーションの遅れからゴール下のアシストで47-43。

3 P

このピリオドも先に連続して決めるもピックスクリーンからドリブルジャンプシュート、3Pシュート、ドリブルシュートとピックスクリーンを多用してくる。佐藤奈の連続シュートや、斉藤麻とのポストコンビネーションプレイで4:40には59-48。
その後No11に3Pシュートとドリブルシュート、No8にもドリブルシュートを許し2:28に62-58。佐藤奈、栗林のゴール下連続シュートで66-58。残り0:21と0:04にタイムアウトをとりスローインからの指示をしてそれぞれ得点し70-58。
ピックスクリーンに対するオーバーアンダーDFのスクリーナーDFに課題。

4 P

2分間ノーゴールの間、3Pシュートも含めて連続7得点される。ようやく塩野が3Pシュートを決めるが直後にまた連続ゴール6:50には73-69と再度詰め寄られる。
西尾のインターセプトから連続ゴールで1:20には88-72と一気に離しにかかるが、逆にNo4に連続ゴールを許し91-79。
懸念していた対ドライブのDFとピックスクリーンのDF、DFリバウンド、ターンオーバーの多さと課題の残る試合内容。

○3回戦 聖カタリナ女子 (愛媛県)

注意点:早いランニングプレイと駆け引きが上手くシュートチャンスには素早く攻めてくるので、早いマッチアップとチームディフェンス、リバウンドを確認。

スタートメンバー: 聖カケ 5 (162) 6 (177) 7 (172) 12 (164) 13 (169)
山の手 斉藤麻 (173) 佐藤奈 (175) 尾崎 (176) 西尾 (163)
塩野 (158)

1 P

両チームハーフコートマンツーマンDFでスタート
パスミスから3Pシュートを決められ不安なスタートだったが、西尾が連続得点で払拭。
6:00までシーソーゲームで10-10。ポストへのパスを飛びつかずインターセプトされたりドリブルスティールから速攻を決められたりして4:40に13-21。その後もターンオーバーが続き、きつい展開となる。
斉藤麻、西尾のそれぞれ9得点でなんとか点差を縮めたがターンオーバー7つとこと

ごとく得点され20-25。

2P

このピリオドもDFリバウンドボールをスチールされ得点され、パスミス等のターンオーバーによって5:50によりやく佐藤奈のゴール下シュートが初ゴールで22-28。

以降もDFリバウンド、スチールとカタリナの間のないプレイに思うようにプレイできず、逆に早いパス回しから3Pシュートを入れられ、さらにセーフティをせずパスインターセプトを狙ってイージーシュートを許すもどかしいゲーム展開。

カタリナ2・1・2ゾーンDF。4:11、22-35とされタイムアウト。直後に塩野の連続3Pシュート。このピリオド8得点しか取れず、28-38で前半を終える。

3P

No.6のゴール下シュートでこのピリオドも先に点を与える。

その後も加点され6:40には30-46と離される。斉藤麻、塩野の3Pシュート、佐藤奈のインターセプトからの速攻が決まり、ようやく流れをつかむ。4:20に38-48となりカタリナタイムアウト。

エンドからポストへのパスをインターセプトされ、さらにパスミスが続いて得点されたため2:28タイムアウト。直後、米島、牧野の連続3Pシュートが決まり追い上げムードとなったが、セーフティが遅れイージーシュートを許し44-53。

4P

双方シュートが決まらないが最初の得点はカタリナ。2分間ノーゴールで7:50に47-55。さらに佐藤奈のセカンドチャンスで49-55。ピックアップミスでイージーシュートを決められるが、佐藤奈と斉藤麻でようやくコンビネーションプレイで得点。ただDFが思うように機能せず、なかなか得点差が縮まらないため4:45に53-63となったところでタイムアウト。3Pシュートを中心にプレスDFを指示。牧野、塩野の連続3Pシュートで3:30に59-65。さらにオフェンスチャージングを取り、斉藤麻のドリブルスチールからのドリブルシュートで3:10には61-65となり射程距離圏内。2:20に牧野が4本目となる3Pシュートが決まり64-67。

ようやくDFも機能してきたこの試合最大の山場、残り0:48に山の手ボールとなったところでタイムアウト。5人全員3Pシュートを持っているので3Pシュートを指示。ところがドリブルをスチールされ、さらにパスミスと連続ミスから得点され最悪の展開となり64-71で試合を終える。

今大会の反省点として

○ミスによって、突き放すときに離せない。点差が広がっても追いつかれる。これから追い上げと言うときにもたついてしまう。良いときが続かない。

- ・ミスにはチャレンジ（何かをやろうと意志のある積極的）ミス、ケアレス（不注意な）ミス、何もしないナッサイング（何ごとにおいても消極的で人任せ）ミスの3通り。
- ・チャレンジミスなら仕方ないが、ケアレスミスが多く、どちらかというと自暴ミスにつきる。ある程度は予想していたが修正できないまま試合に臨んだが、これは指導者の責任。

○ドリブルに対するディフェンス

- 1.ノーマークを作らない。2.速攻でイージーシュートを与えない。3.セカンドチャンスでオフェンスの回数を多く与えない。そして4.ドリブルインシュートを阻止する。がチームディフェンスのコンテンツ。

- ・特にドリブルシュートはシュート確立がよくファウルを誘発することにもなるので抑える。
- ・ドリブルに対しては1対1とチームディフェンス。
ボールマンディフェンスはリードステップを引かないで1・2ステップと2歩平行に移動して攻める気持ちで足を運ぶ。
チームディフェンスでドリブルマンディフェンスに守れないときはヘルプ、ヘルパーは次のローテーションに備えてローテの声を出すことによってスムーズに対応可能となる。
- ・スクリーンを利用したドリブルに対してもファイティングスルーなのかスイッチなのか、コールが明確でなく安易に破られていた。

以上2点が勝敗を分けることとなった。

桜花学園が優勝したがカタリナは準決勝で桜花学園と74－70の4点差。

3・4位戦は安城学園（愛知）に71－47で勝利して3位。

3年生主体のチームから、年明けより新チームへ新たな第一歩。

どうしたら楽しいバスケットボールができるか、また謎解きがスタート。